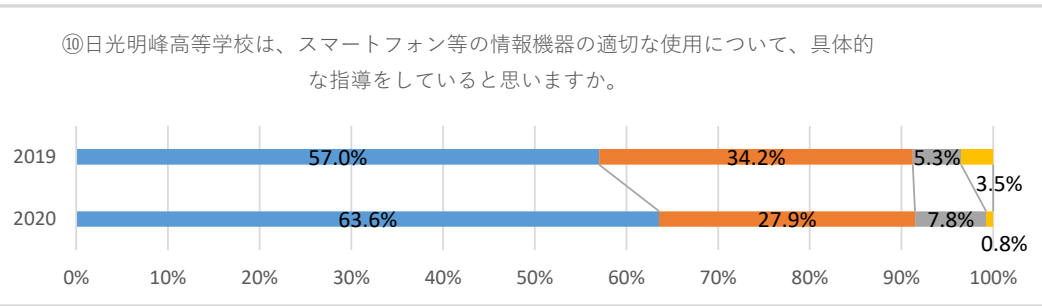
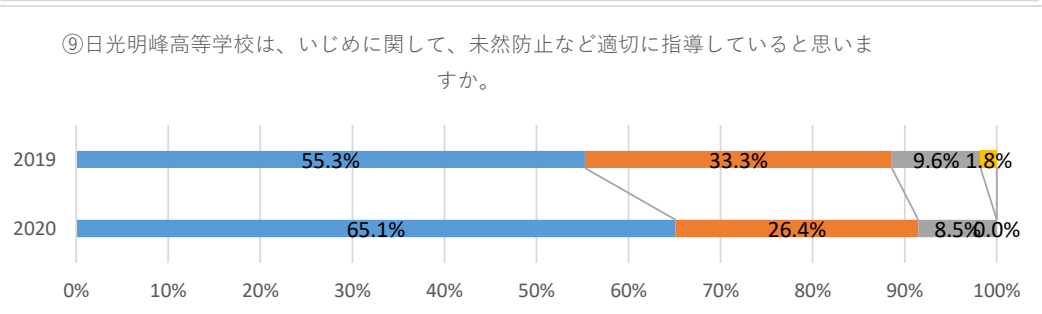
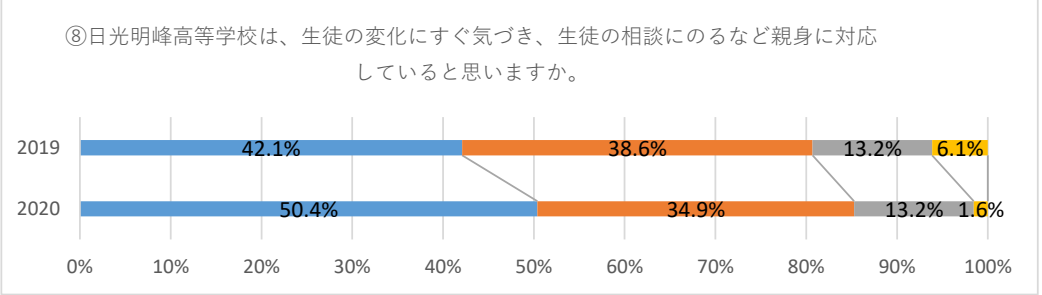
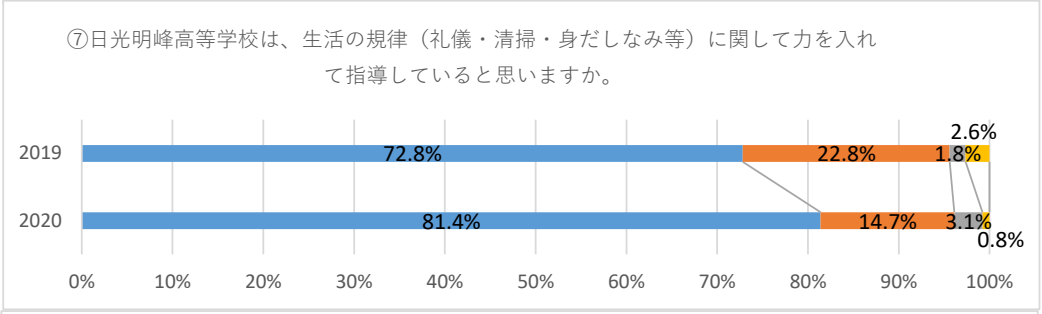
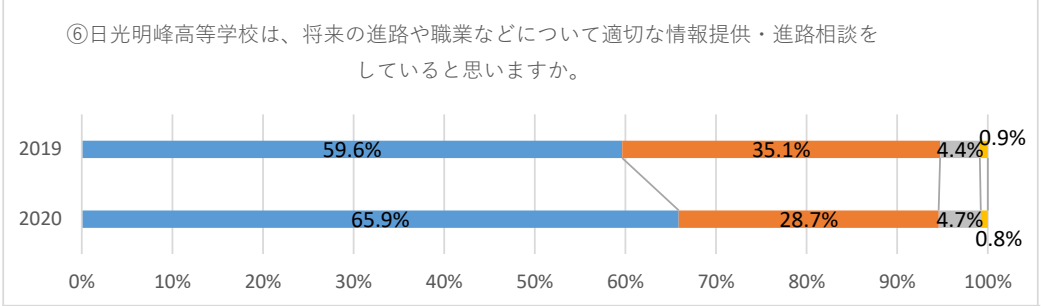
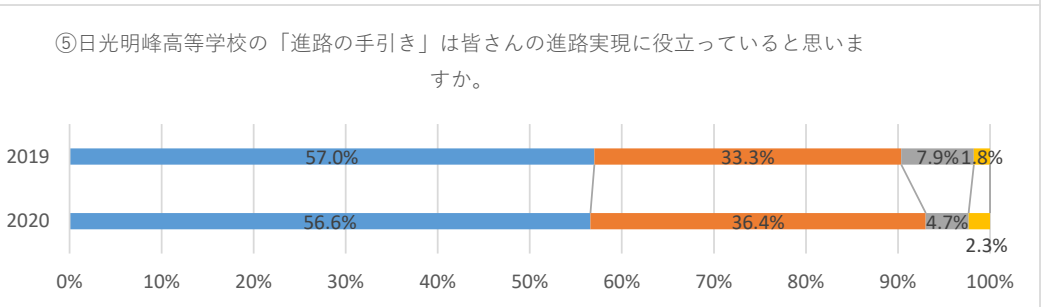
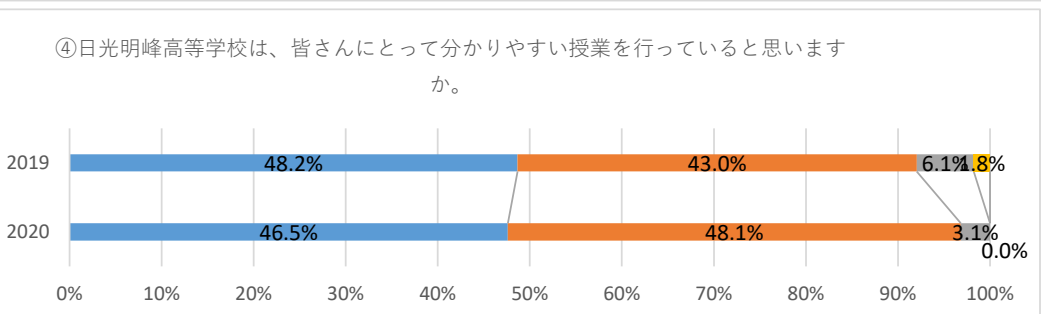
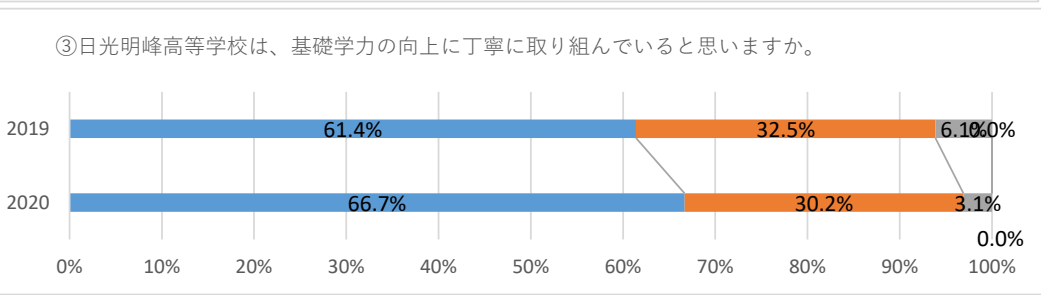
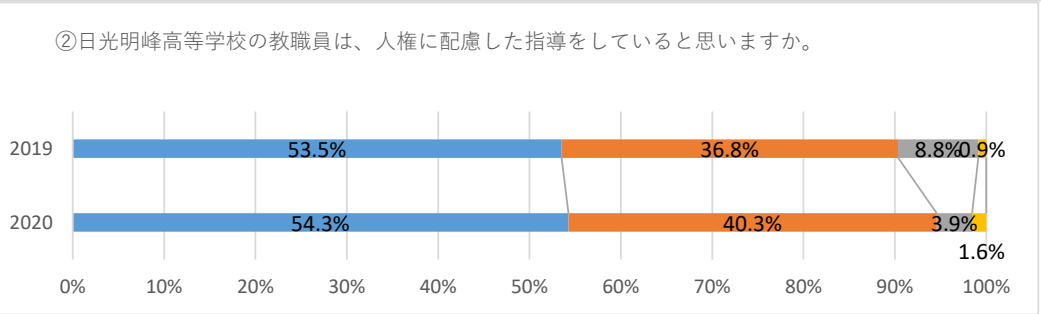
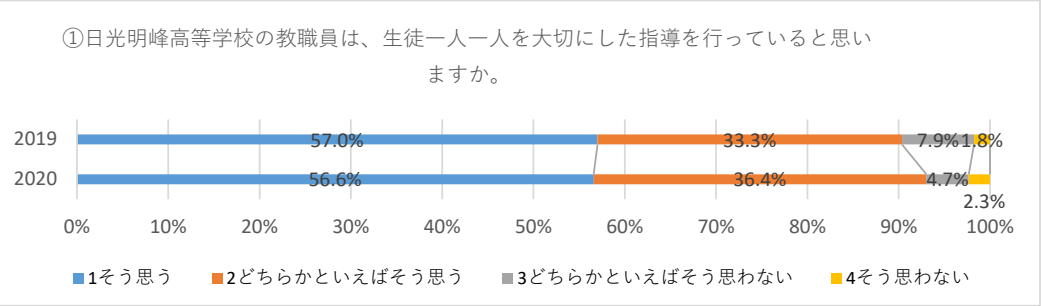
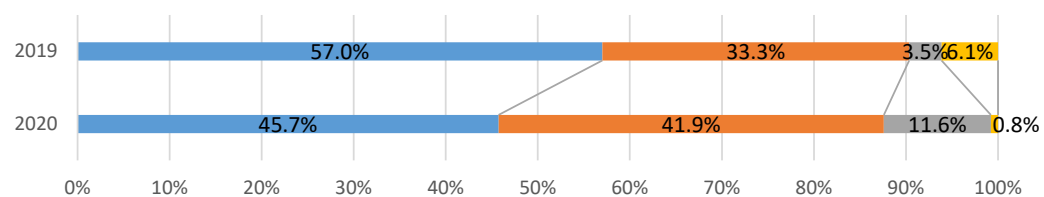


日光明峰高等学校 生徒アンケート 集計と分析

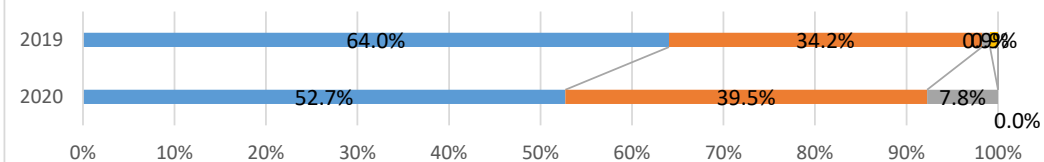
※2020年有効回答数129名（99.2%）, 2019年有効回答数114名（96.6%）



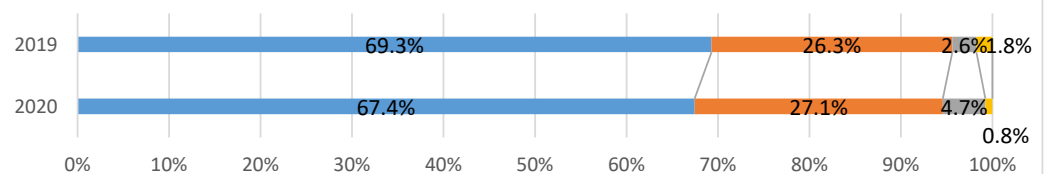
⑪日光明峰高等学校の学校行事は充実していると思いますか。



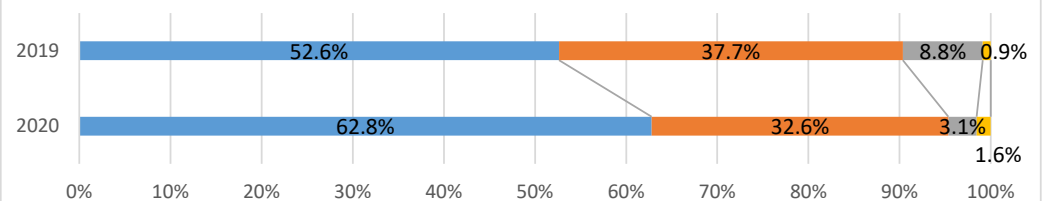
⑫日光明峰高等学校のボランティア活動について、募集案内などの情報提供が充分だ
と思いますか。



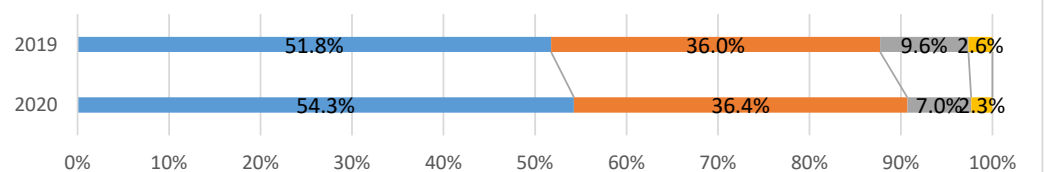
⑬日光明峰高等学校は、ボランティア活動を通して地域と連携していると思いま
すか。



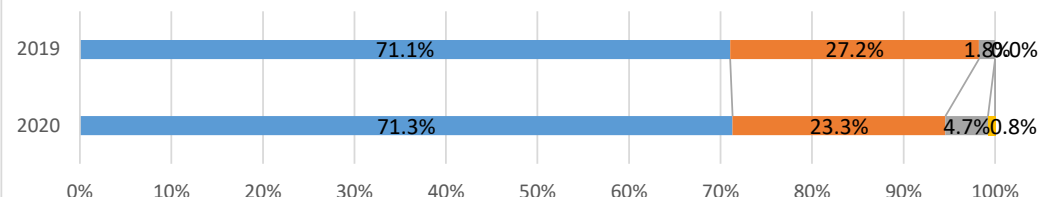
⑭私は、授業に積極的に参加している。



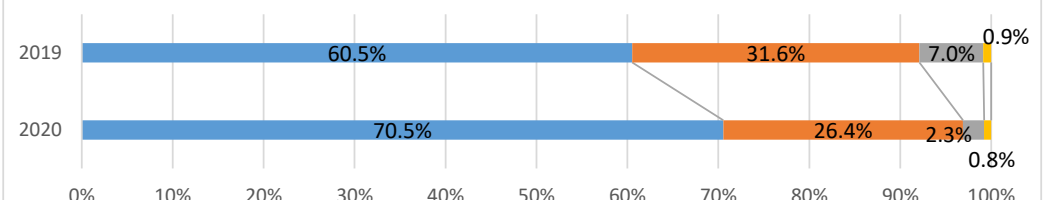
⑮私は、学校が安全安心な学びの場であり、役割や活躍の場が与えられてい
ると感じている。



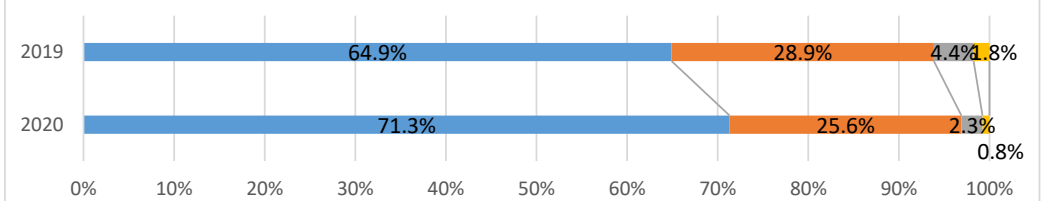
⑯私は、礼やあいさつをきちんとするなど礼儀をわかまえている。



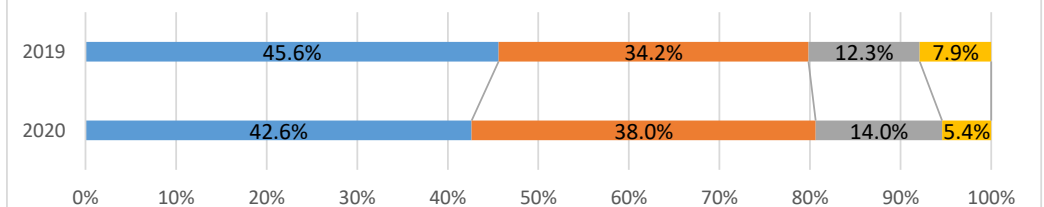
⑰私は、清掃を真剣に行っている。



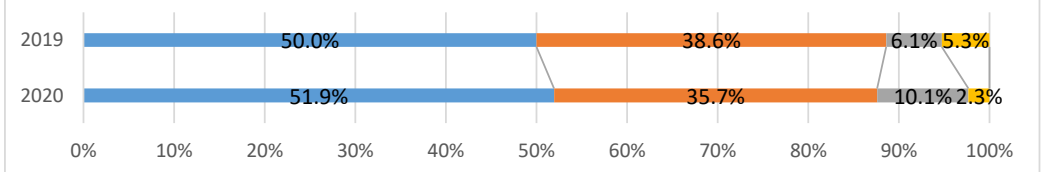
⑱私は、身だしなみをしっかり整えている。

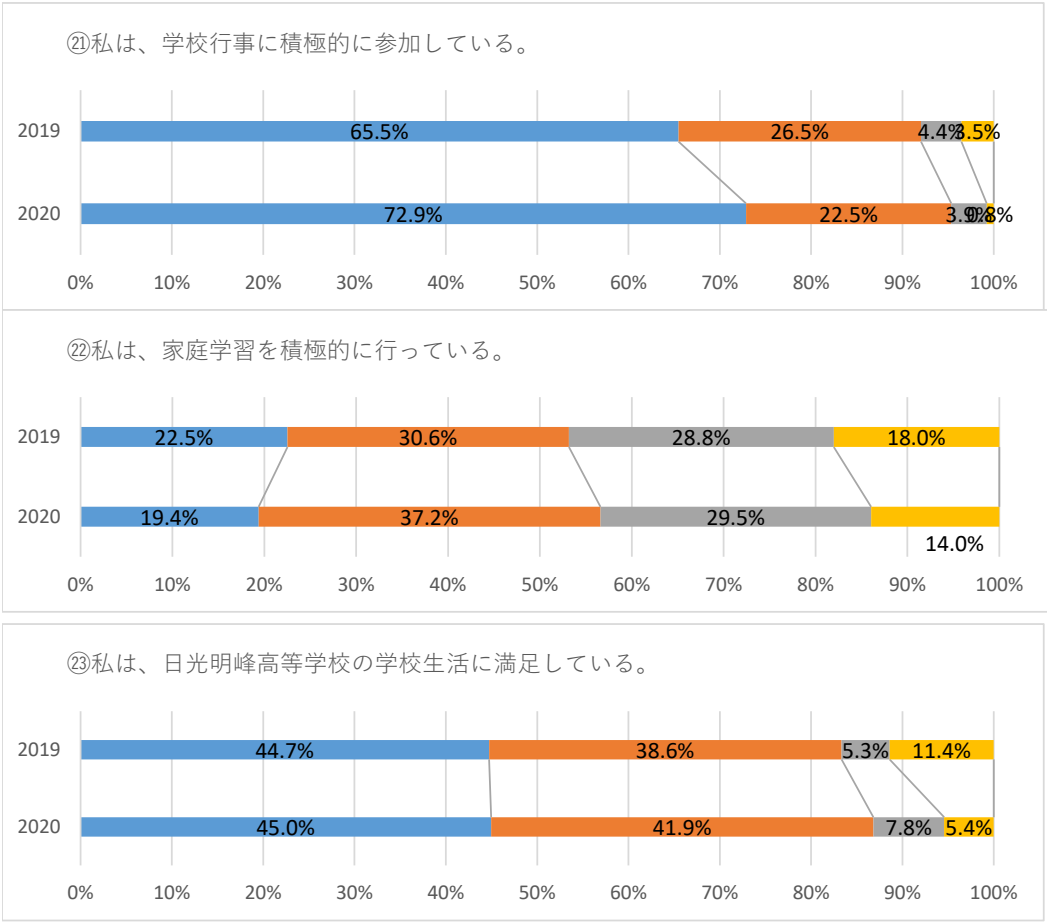


⑲私は、将来の進路を具体的にイメージできる。



⑳私は、日光明峰高等学校のカリキュラム（学習内容）・コース（類型）の
設定に満足している。





【結果分析】

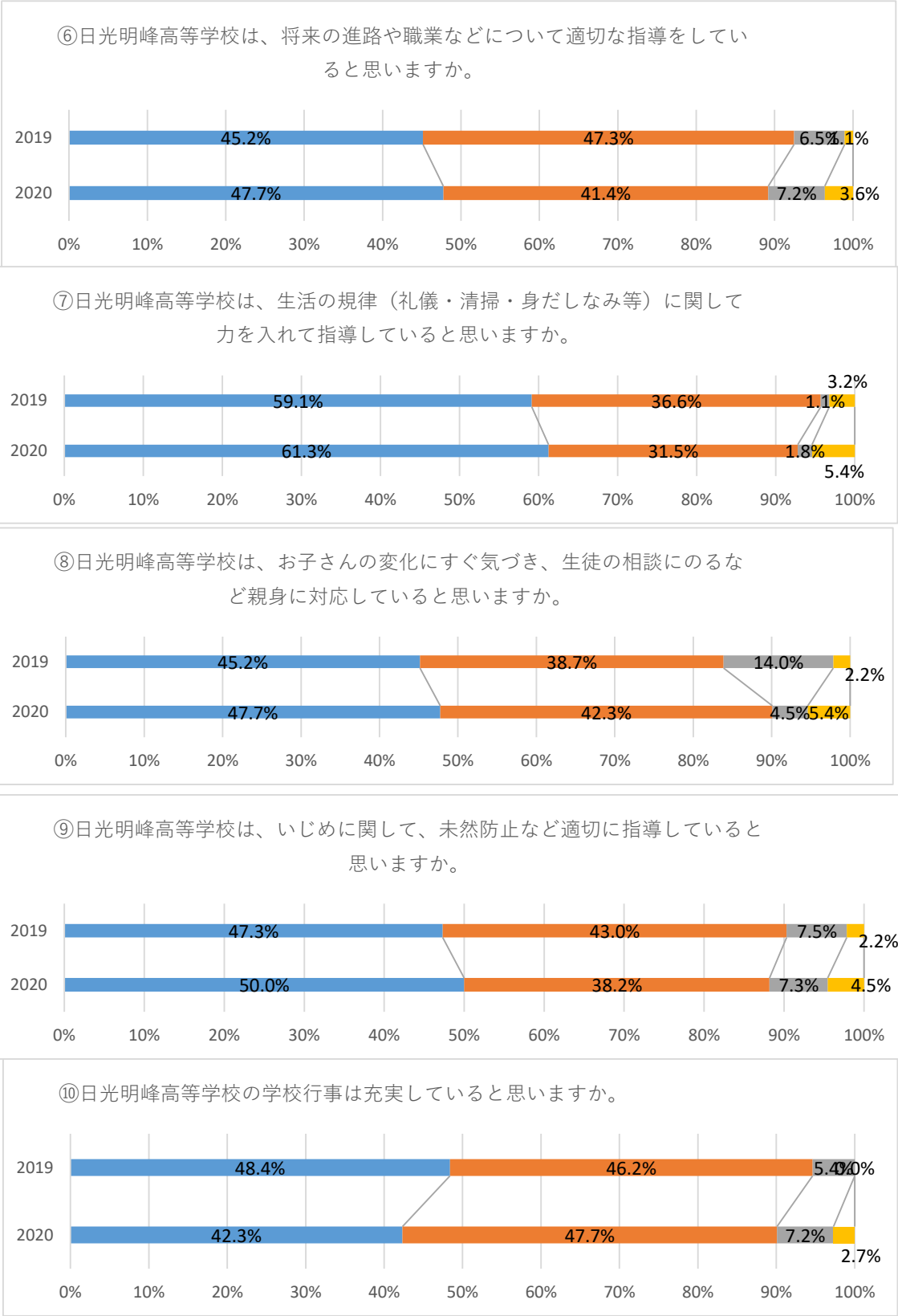
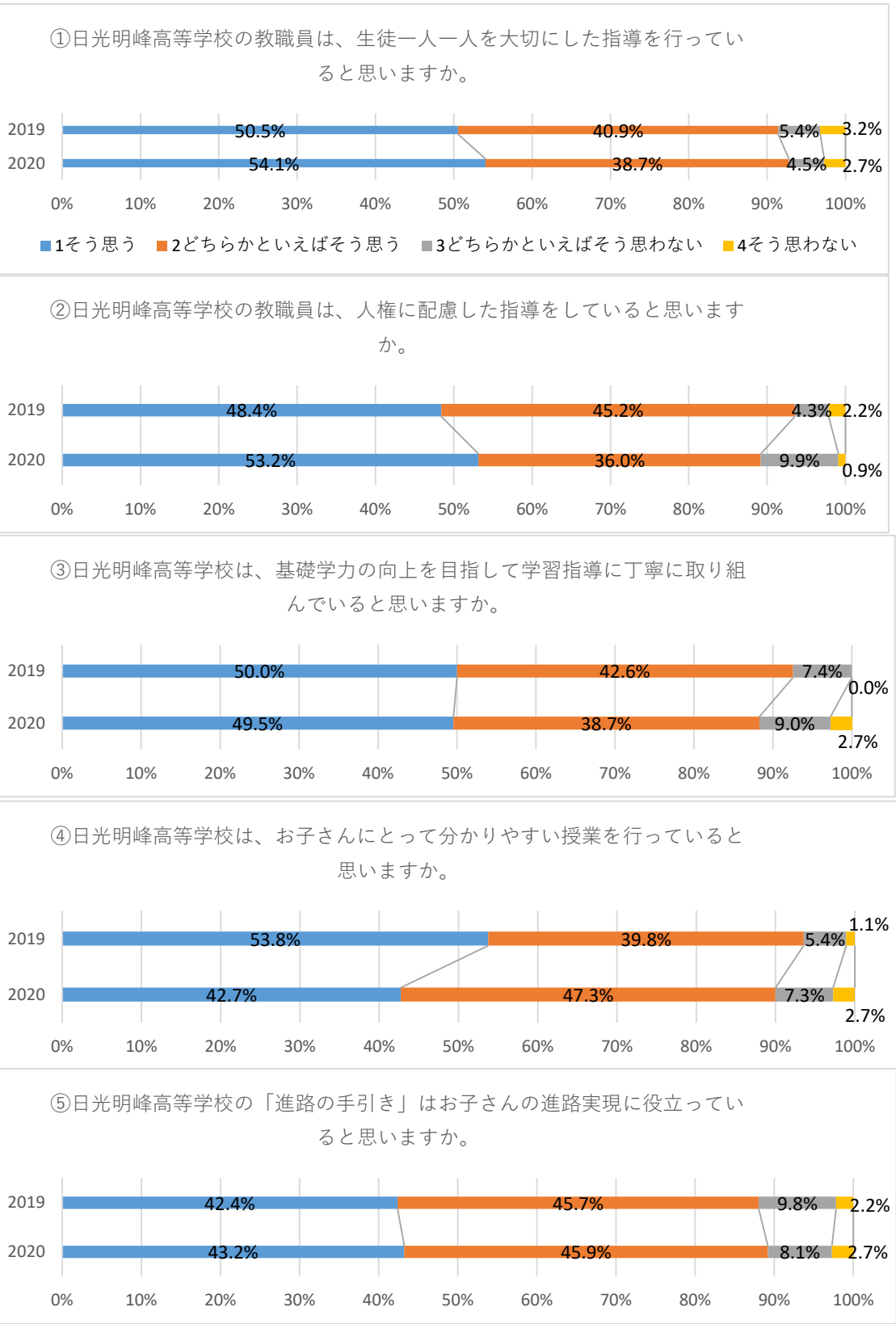
本年度（2020）の結果としては、アンケートの質問項目に対して、全体的に非常に高い評価をいただくことができました。ほとんどの質問に対して9割以上の生徒がポジティブな回答をした結果が得られました。昨年度の結果と比較しても、「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」というポジティブな回答の割合がほとんどの項目で微増していました。その中で「⑪日光明峰高等学校の学校行事は充実していると思いますか。」「⑫日光明峰高等学校のボランティア活動について、募集案内などの情報提供が充分だったと思いますか。」「⑬日光明峰高等学校は、ボランティア活動を通して地域と連携していると思いますか。」に関しては下がりました。理由としては本年度感染症の影響もあり、行事が中止になったことや校外活動が制限されたことなどが減少につながった原因であると考えられます。

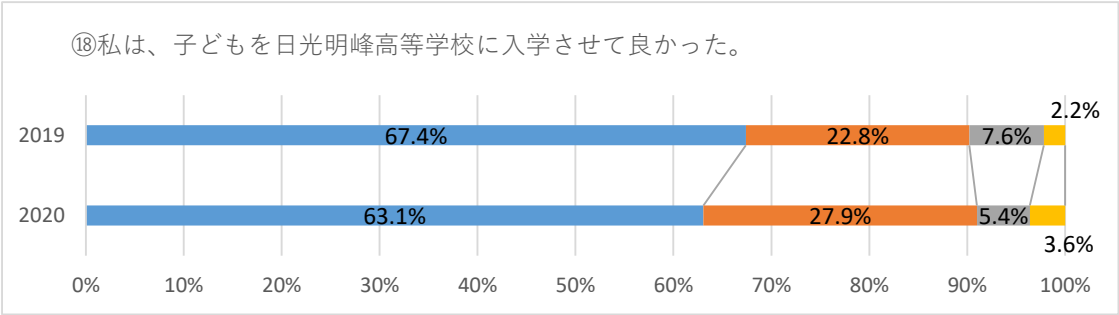
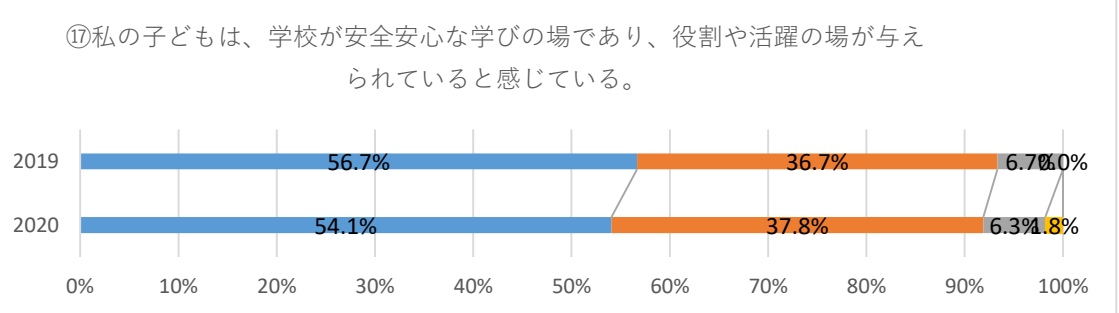
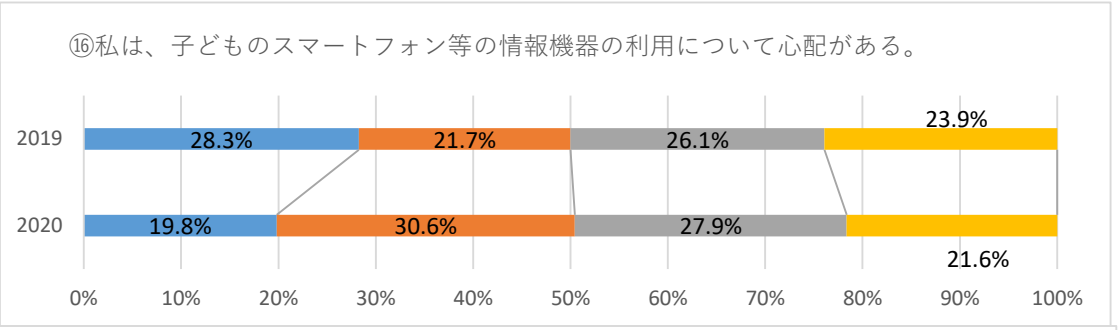
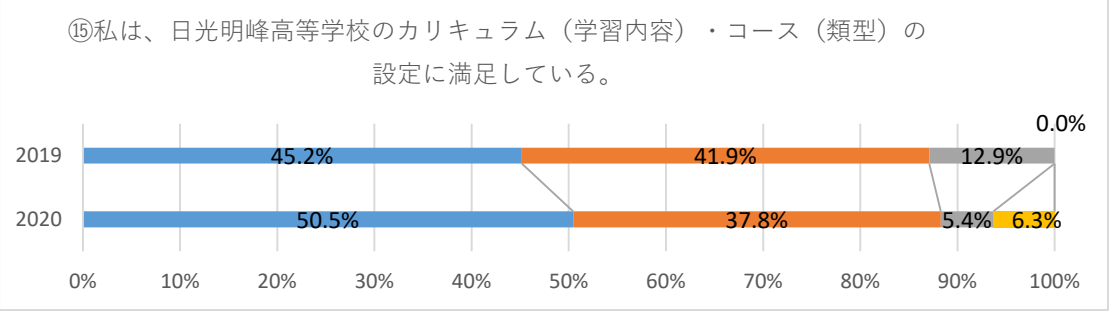
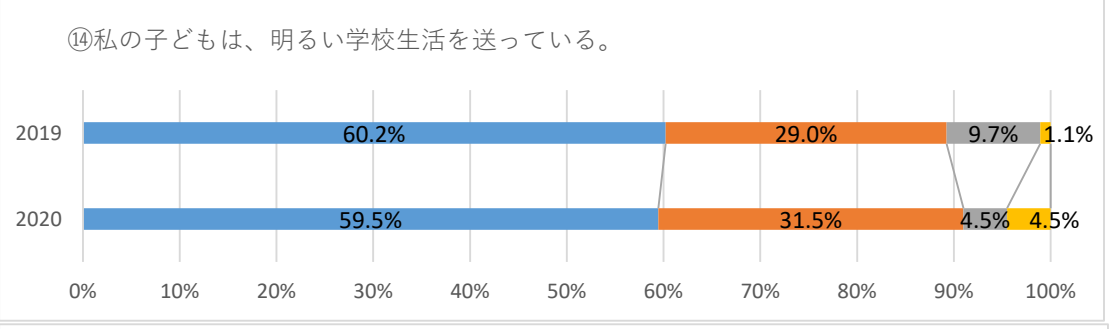
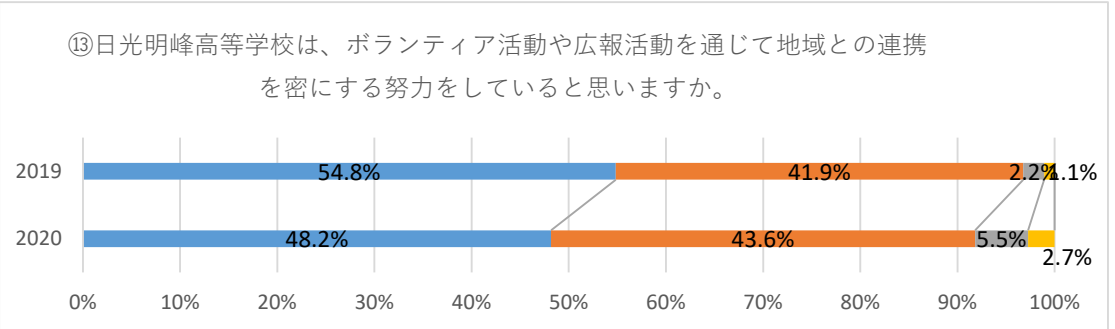
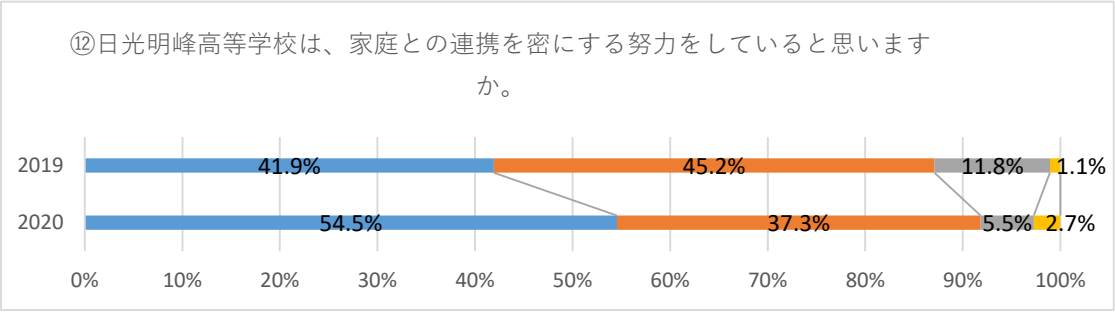
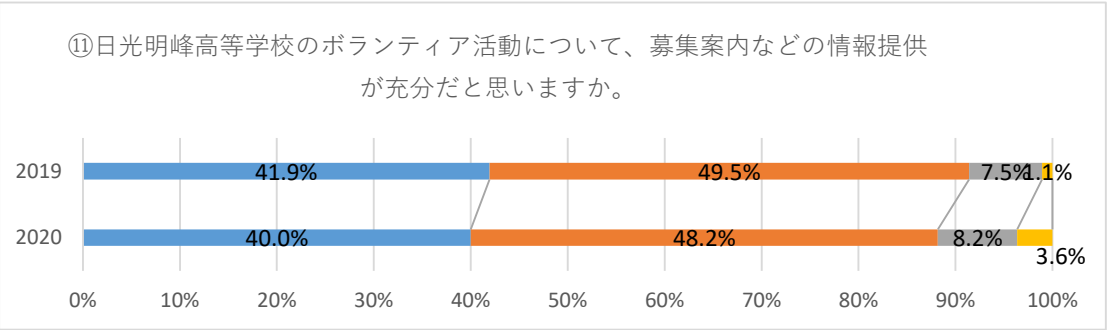
比較的ネガティブな回答が目立った項目は、「⑩私は、将来の進路を具体的にイメージできる」と「⑫私は家庭学習を積極的に行っている」の2つです。⑩に関して学年別に見てみると、1年生では全体の約21％、2年生では約24％、3年生で約11％の生徒が「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答しており、1・2年生は3年生の約2倍の割合となっています。低学年ほど進路の具体的なイメージはつかみにくいものではありませんが、決して良い結果とはいえません。特に1年生よりも2年生の割合が高くなっていることは残念でした。今年度はインターンシップ・ボランティア活動等の校外での学習が中止となるなか、上級学校見学会や系統・分野別ガイダンスなどの進路学習を制限のある中実施してきました。このような時期でもできる限りの工夫をして、3年間を見通したキャリアガイダンスを実施することで、生徒が卒業後も自分の選んだ進路に希望を持って自立的に切り拓いていけるよう指導をしていきます。⑫に関しては昨年度よりは増加しているものの、例年割合が低い項目であり、半数の生徒がネガティブな回答をしています。⑩の項目と関連付けて、進路意識をしっかりと持つことで、学習することの意義を理解し家庭学習を進められるよう教職員一丸となり指導していきます。

また、「⑬学校生活に満足している」に対する「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そうは思わない」の割合は昨年度よりは減少していますが、回答数でいえば17名です。ポジティブな回答割合は上がっている一方で、そのように強く実感している生徒がいることは遺憾であり心配です。学校への評価が割合的には好評な一方で、すべての項目にネガティブな回答が存在していますので、その分の生徒が不平や不満を抱えて学校生活を送っているということを直視して、今後とも生徒にとってより良い学校になるよう日々心がけ、実践します。

対して「⑭私は、授業に積極的に参加している」「⑰私は清掃を真剣に行っている」「⑱私は、身だしなみを整えている」「⑫私は学校行事に積極的に参加している」の項目については95％以上のポジティブな回答があり、生徒の学校生活に対する意識の高さが表れていることはとても喜ばしいことです。

生徒のみなさん、アンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの結果を生かし、より良い学校にするため教職員一同努力して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。





【結果分析】

アンケートの質問に対して、全体的に高い評価をいただくことができました。どの質問にも8割以上の保護者の皆様がポジティブな回答をくださいました。しかしながら昨年度と比較すると、割合が上がっている項目は（①⑤⑧⑩⑫⑭⑮⑱）の8項目に対し、下がっている項目は（②③④⑤⑥⑦⑨⑪⑬⑰）の10項目とマイナスになってしまった項目の方が多いことは残念でした。特に「①生徒一人一人を大切にした指導」以外の「②人権に配慮した指導」「③基礎学力の向上を目指した学習指導」「④分かりやすい指導」「⑥適切な進路指導」「⑦規律に関する指導」に関しては若干ではありますが減少している点は厳しく受け止めなければ行けません。②③④については、今年度目指す生徒像として「聴く・説く・挑む」ということをテーマに、授業改革に取り組んできました。生徒の進路実現につながるよう、今後もよりよい授業作りに取り組んでいきます。

またポジティブな項目を見ると「⑧お子さんの変化にすぐ気づき、生徒の相談にのるなど親身に対応しているか」「⑩家庭との連携を密にする努力をしているか」「⑭私の子どもは、明るい学校生活を送っている」といった項目が昨年度よりも増加しているのは喜ばしいことです。特に今年度は感染症のため不安になることも多くあったと思います。今後も引き続き、教員は生徒の様子をより頻繁に、より敏感に観察し、保護者の皆様とより密に連携をとる努力をしています。

さらに「⑯スマートフォンの使用」に関してはポジティブな意見とネガティブな意見がほぼ半数に分かれました。学校においてもスマートフォン等の情報機器の適切な利用について指導をしており、生徒のアンケートからも9割近く良い評価をいただいています。便利なツールではありますが、使い方次第ではプラスにもマイナスにもなります。ご家庭でもルール作り等、適切に使用できるようご協力をお願いいたします。

多くの高い評価をいただいた一方で、「⑱子どもを入学させてよかった」のネガティブな回答が全体の9%もあったことはとても気になります。この結果を真摯に受け止め、保護者の皆様からすべての項目でポジティブな回答をいただくことができるよう、今後とも気を引き締めてより良い学校にするため教職員一同努力して参ります。保護者の皆様、お忙しい中アンケートのご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。